



## 受け継ぐ思いと子どもたちの成長

校長 中西 建介

本校前校長の中里純子先生が去る8日に逝去されました。長きにわたり本校の教育にご尽力くださり、子どもたちや教職員、保護者や地域の皆様に温かくかかわってこられた先生でした。突然の訃報に接し、教職員一同、悲しみとともにそのご功績の大きさを改めて感じております。生前のご厚情に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。また、ご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。

校庭の木々の緑がいっそう深まり、紫陽花が静かに彩りを添える季節となりました。子どもたちは、新学期からの学校生活の中で、学習や行事、友達とのかかわりなど、さまざまな経験を積み重ねてきました。その中で、一人ひとりが少しずつ自信をつけるとともに、学級や学年の仲間として支え合いながら成長する姿が見られるようになっていきます。



また、保護者や地域の皆様の見守りやご支援のもとで、子どもたちは多くのことを学んでいます。登下校の見守りや地域でのあいさつ、教育活動へのご協力などを通して、人とのつながりや思いやりの大切さを感じながら成長しています。さらに、たてわり活動やペア学年交流など、他学年の友達と交流する機会を通して、上学年は下学年を思いやり、下学年は上学年の姿を手本にするなど、互いに学び合いながら力を伸ばしています。

学校の中では、「すごいね」「大丈夫だよ」「ありがとう」といった言葉が自然に交わされる場面が増えてきました。そうした何気ない言葉が、友達との関係を深め、学校全体を温かな雰囲気包み込んでいます。子どもたちが自分たちの力で学校をよりよくしようとしている姿に、日々成長を感じています。18日の授業参観でも、子どもたちの成長した姿や、友達とのかかわりながら意欲的に学ぶ様子をご覧いただけたのではないかと思います。

子どもたちは、うまくいったことだけでなく、思うようにいかなかった経験や悩みの中からも多くを学んでいます。友達と協力することや、自分の気持ちを伝えること、相手の気持ちを考えることなど、その一つ一つが、子どもたちの心の成長につながっています。また、前校長のご逝去という悲しみの中にあっても、子どもたちの言葉や日々の姿にふれることで、私たち自身が支えられていることを感じています。

私たち教職員は、子どもたち一人ひとりの思いに丁寧に寄り添いながら、そのよさや可能性を伸ばしていけるよう努めてまいります。また、前校長が大切にしてくられた子どもたちへの思いを受け継ぎ、子どもたちが安心して過ごし、「やってみよう」と思える学校づくりを、これからも大切にまいります。

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちの成長は、家庭や地域の支えがあってこそ、より豊かなものになります。今後とも、温かく見守っていただきますようお願いいたします。

来月下旬には夏休みを迎えます。子どもたちがさまざまな経験を通して、自分らしく歩みを重ねてくれることを願っています。そして、休み明けに元気な姿で再会できることを、教職員一同、心より願っています。